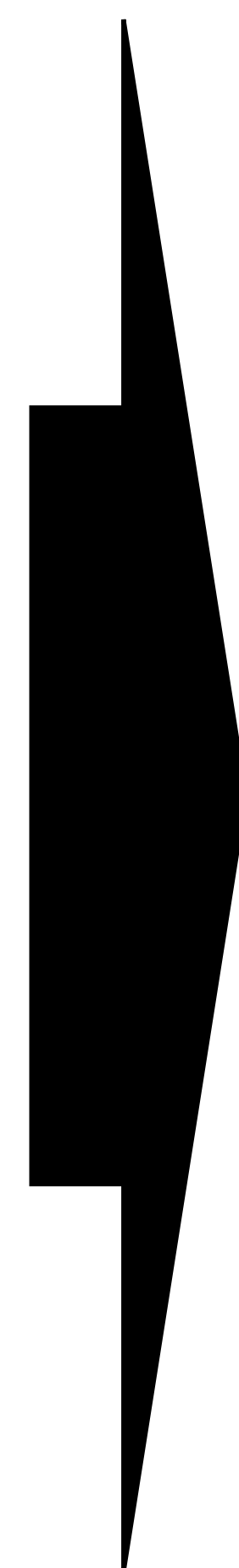


# 障害者雇用分科会における2024年度の年度目標(案)

年度目標項目	2023年度の年度目標	2023年度の年度実績	2024年度の年度目標(案)	データの出所
ハローワークにおける障害者の就職件数	103,163件以上	110,756件	110,756件以上	職業安定業務統計
<b>【障害者雇用率関係】</b> ①障害者の雇用率達成企業割合  ②障害者雇用ゼロ企業のうち、新たに障害者を雇用した企業の割合	①46.6%以上  ②15.2%以上 (※) <small>※障害者雇用ゼロ企業(2023年6月1日時点)のうち、新たに障害者を雇用した企業(2024年6月1日時点)の割合</small>	①調査中 (2024年6月1日時点)  ②調査中 (2024年6月1日時点)	① 46.8%以上  ② 15.2%以上 (※) <small>※障害者雇用ゼロ企業(2024年6月1日時点)のうち、新たに障害者を雇用した企業(2025年6月1日時点)の割合</small>	職業安定業務統計  障害者雇用状況報告
<b>【精神障害者雇用トータルサポーター支援実績】</b> ①精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者のうち、就職に向けた次の段階へ移行した者の割合  ②精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了し、就職に向けた次の段階へ移行した者のうち、就職した者の割合	①78.8%以上  ②84.3%以上	①84.3%  ②86.4%	精神・発達障害者雇用サポーターによる就職支援を終了した者のうち、就職した者の割合  72.8%以上	精神・発達障害者雇用サポーター支援状況報告



【参考】障害者雇用分科会における2024年度の年度目標(案)の考え方

年度目標項目	2024年度の年度目標(案)	年度目標(案)の考え方
ハローワークにおける障害者の就職件数	110,756件以上	<p>目標設定の基本的な考え方：前年度実績以上として設定</p> <p>目標(案)：2023年度実績以上</p> <p>【過去3カ年の実績】2021年度実績96,180件、2022年度実績102,537件、2023年度実績110,756件                      ※ 評価の参考指標として、就職した障害者の定着率についても、令和6年度から把握していくこととする。</p>
<p>【障害者雇用率関係】</p> <p>①障害者の雇用率達成企業割合</p> <p>②障害者雇用ゼロ企業のうち、新たに障害者を雇用した企業の割合</p>	<p>①46.8%以上</p> <hr/> <p>②15.2%以上</p>	<p>目標設定の基本的な考え方：前々年度の実績に過去10か年分の平均伸び率を加味して設定</p> <p>目標(案)：前々年度の実績に過去10か年の平均伸び率と2024年4月の雇用率の引上げ及び2025年4月の除外率引下げの影響を加味して設定</p> <p>※雇用率に関する取扱いの変更がなされた2011年、2013年、2018年及び2021年を除いた過去10か年分(2010年～2023年)の平均伸び率(+1.61pt増)、2024年度に実施した法定雇用率0.2%の引上げによる影響(3.20pt減(R3年の法定雇用率0.1%引上げの影響が1.60pt減であったことを踏まえ設定)及び2025年度に予定されている除外率10ptの引下げによる影響(1.7pt減(H23年の除外率10pt引下げの影響が1.7pt減であったことを踏まえ設定))を加味して設定</p> <p>【過去3か年実績】2020年度実績47.0%、2021年度実績48.3%、2022年度実績50.1%</p> <hr/> <p>目標設定の基本的な考え方：直近3か年の実績の平均値以上として設定</p> <p>目標(案)：直近3か年の実績が前年度目標を下回るため、前年度と同様</p> <p>【過去3カ年実績等】2020年度実績12.5%、2021年度実績13.7%、2022年度実績14.2%。3か年平均は13.5%</p>
<p>【精神・発達障害者雇用サポーター支援実績】</p> <p>精神・発達障害者雇用サポーター(※)による就職支援を終了した者のうち、就職した者の割合</p>	72.8%以上	<p>目標設定の基本的な考え方：直近3か年の実績の平均値以上として設定</p> <p>2024年度目標設定の考え方：コロナの影響を強く受けている2021年度実績を除く、直近2か年分の実績の平均値以上</p> <p>目標(案)：直近2か年の実績の平均値以上</p> <p>【過去3カ年実績等】2021年度実績67.3%、2022年度実績72.0%、2023年度実績73.5%。2か年平均は72.8%</p>

※ 令和6年度から、従来の精神障害者雇用トータルサポーターと発達障害者雇用トータルサポーターに替えて、昨今のHW以外の支援機関の状況や支援対象者の就職割合が伸びている状況等を踏まえ、関係機関との連携により、企業とのマッチングによる就職支援により重点を置いた支援を行っていく「精神・発達障害者雇用サポーター」を配置しており、こうした見直し内容を踏まえ、目標設定を就職率に一本化している。